

わかりやすい 財務管理と管理会計の基礎実務セミナー

～財務分析のポイントから、資金繰りや損益管理への活かし方まで～

□日時：平成31年 1月23日(水) 10:00～17:00 (6H)

□講師：公認会計士・不動産鑑定士
中小企業診断士・税理士

土屋 晴行氏

□会場：本会関西本部内 専用教室(下記案内図参照)
大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主催：一般社団法人 日本経営協会

□開催にあたって

本セミナーでは、キャッシュ・フロー及び損益管理の考え方をベースにしながら、決算書分析のポイントや資金調達・運用、採算計画、経営判断のための管理会計について、演習を交えながら具体的にわかりやすく解説します。そして、企業経営のあらゆる場面で必要な計数・経営感覚を身につけていただきます。

講師紹介

公認会計士・不動産鑑定士
中小企業診断士・税理士

土屋 晴行氏

東京大学経済学部卒業。公認会計士・不動産鑑定士・中小企業診断士として、経営診断や経営指導に活躍。日本公認会計士協会公会計特別委員会委員、同協会東京会税務委員会委員、中小企業基盤整備機構人材育成アドバイザーなどを歴任。

主な著書に「バランスシートの読み方練習帳」、「損益計算書の読み方練習帳」、「土地建物の税金Q&A」、「相続贈与の税金Q&A」、「簿記3級・これで合格」「税務調査・ここに気をつけろ」(いずれも、こう書房)、「商法がわかった」(法学書院)ほか3点がある。

こんな方々におすすめ

- 経理・財務担当や予算管理担当になってまだ日が浅い
- 決算書の読み方・分析のしかたを基礎から学びたい
- 資金繰りの実務についても学びたい
- 財務会計と管理会計との関係をきちんと理解したい など

—過去の参加者の声より—

- ・講師の話し方が聞きやすく、わかりやすかった。
- ・演習では、実際の数字を使って自分で計算ができて、よかった。
- ・売上のアップや経費の削減にもいろいろな方法があることがわかった。
- ・業務では知識が偏りがちになるが、このセミナーでは財務会計と管理会計の全体像が把握できた。

■ 申込要領 ■

参加料：
(1名につき)

	参加料	消費税	合計
本会会員	30,000円	2,400円	32,400円
一般	35,000円	2,800円	37,800円

申込方法：裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送又はFAXにて下記へお申込みください。追って、参加券と振込口座名を記載した請求書をご派遣責任者までお送りします。

参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。

(経理処理の都合等にて遅れる場合はご一報ください)

- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 電話では、ご予約のみ承ります。(後日、必ず申込書をご送付ください)
- 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

キャンセルについて

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日まで連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

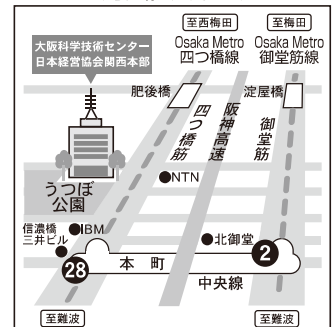
その他：

- 教材は原則として当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影は原則としてお断りいたします。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

お申込・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：佐々木

〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <http://www.noma.or.jp/kansai/>
TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
 - ▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
 - ▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
 - ▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
 - ▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

□プログラム□

I. 決算書の仕組みと読むポイント

1. バランスシートの基本を解説する
 - ・バランスシートと財務諸表の見方
2. 【資産の部】を読む
 - ・資産にはどんなものがあり、どう配列されているか？
3. 【負債の部】を読む
 - ・負債を読むポイントはどこにあるのか？
4. 【純資産の部】を読む
 - ・純資産の部はどのようなもので構成されているか？
5. 損益計算書の基本を解説する
 - ・損益計算書の種類、役割
 - ・財務会計と管理会計の違い
6. 営業損益の部を読む
 - ・売上高の内容、表示、読むポイント
7. 営業外損益の部を読む
 - ・営業外損益の内容、受取利息と受取配当金

2. 資金繰りとは

- (1) 企業会計と資金繰り
- (2) 資金とは
- (3) 資金繰りの課題
- (4) 資金計画の内容
- (5) 資金管理とは

3. 資金運用表の作成と分析

- (1) 資金運用表について
- (2) 資金移動表について

4. 資金繰り表の作成と分析

- (1) 資金繰り表とは
- (2) 実績資金繰り表について
- (3) 見積資金繰り表について

II. 財務分析と財務管理をどう活かすか

1. 安全性の分析、健全度・安定力はあるか
 - 流動比率・当座比率・固定比率
 - 固定長期適合率・自己資本比率から
2. 収益性分析、コスト管理の徹底は
 - 総資本経常利益率・売上高経常利益率
 - 総資本回転率

III. キャッシュ・フロー計算書はなぜ必要か！

1. 営業活動によるキャッシュ・フローとは何か？
2. 投資活動によるキャッシュ・フローとは何か？
3. 財務活動によるキャッシュ・フローとは何か？

IV. 資金繰りと運用管理はどうするか

1. 楽でないのが資金繰り
 - (1) 資金は企業の“血液”
 - (2) 資金調達と運用の仕組み
 - (3) 黒字倒産とは
 - (4) 資金繰りが苦しくなるとき

V. 経営判断のための管理会計とは

1. 採算計算と原価

- (1) 採算計算を行うとは
- (2) 採算計算に必要な原価

2. 損と儲けの分岐点

- (1) 損益分岐点の考え方
- (2) 変動費と固定費の見方
- (3) 損益分岐点を求めるには
- (4) 損益分岐点の下げ方

3. 損益分岐点の活用の仕方

- (1) 売上利益率を高めるためにどうするか
- (2) 次期の損益分岐点の求め方
- (3) 次期の必要売上高の求め方

4. 予算はどのように立てるか

★当日、電卓と筆記用具をご持参ください。

(3.5)

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ (佐々木) 宛

NOMA		「財務管理と管理会計の基礎実務セミナー」参加申込書 (1985)		H31.1/23 32,400/37,800
(フリガナ) 会社名： 団体名	TEL() - FAX() -	ご派遣責任者：		
(〒) 所在地：	所属・役職：			
参加者氏名	所属・役職名		●お支払い方法 } 通信欄 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> その他	
(フリガナ)				
(フリガナ)				
(フリガナ)			ご請求先(ご担当)	
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。		(ご所属)		

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要